

Grand Design

グランドデザイン改定版

Challenge & **B**reakthrough

令和2年10月改定版

公益社団法人いわき青年会議所

1. はじめに

2005年にいわき青年会議所が誕生して16年。ほかのどのまちにもない、誇りを持てるたった一つのいわきを創り上げたいという創始の心を胸に、今日まで歴史を積み重ねてきました。その歴史の一つひとつに、諸先輩方の並々ならぬ努力と研究の成果、そして行動の結果が刻まれています。まちづくり・ひとづくりのバトンを渡された我々は、2020年代にどんな歴史を刻むことができるでしょうか。

社会が急速な変化を遂げる現代は、柔軟性や想像力が必要だと言われます。もちろん、柔軟性を持って、社会の変化に対応することは大切なことです。しかし、変化には意思が必要であり、いつの間にか変わってしまっていたという場合、その多くは劣化です。変わるために、共通の意思を持ちましょう。そして、その意思の下で、これからの未来社会を想像していきましょう。

様々な価値観が存在する現代は、多様な価値観を認める寛容性が大切です。もちろん、その意味に於いては個々の価値観を大切にし、尊重し合える組織であり続けることは重要であると言えます。しかし、我々は志を同じうする者が集まる組織であるからこそ、変わらない価値観を持つことが大切なのです。様々な価値観を受け入れて、まちづくりやひとづくりに活かしていくために、変わらない共通の価値観を持ちましょう。そして、明るい豊かな社会を創造していきましょう。

このまちに、どんなインパクトを与えるか

このまちに、どんな継続性を与えるか

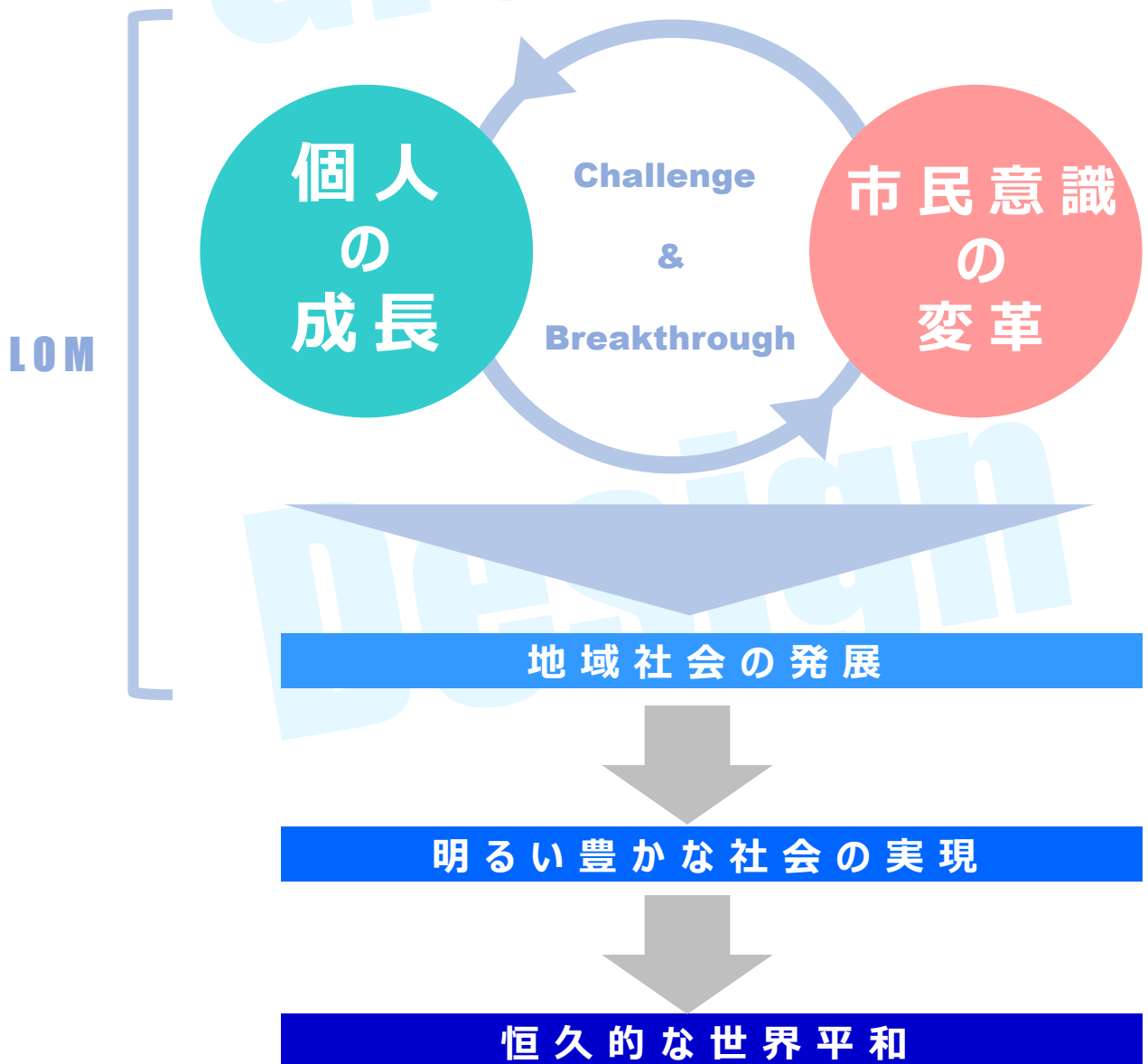
このまちに、どんな優しさをもたらすか

2012年のランドデザイン策定から8年が経過した今、あらためて5年後・10年後を見据えた運動を展開していくための「意思」と「価値観」をランドデザイン（改訂版）という形で示しました。この令和の時代に相応しい「ほかのどのまちにもない、誇りを持てるたった一つのいわきを創り上げる」ためのアイデンティティとして。

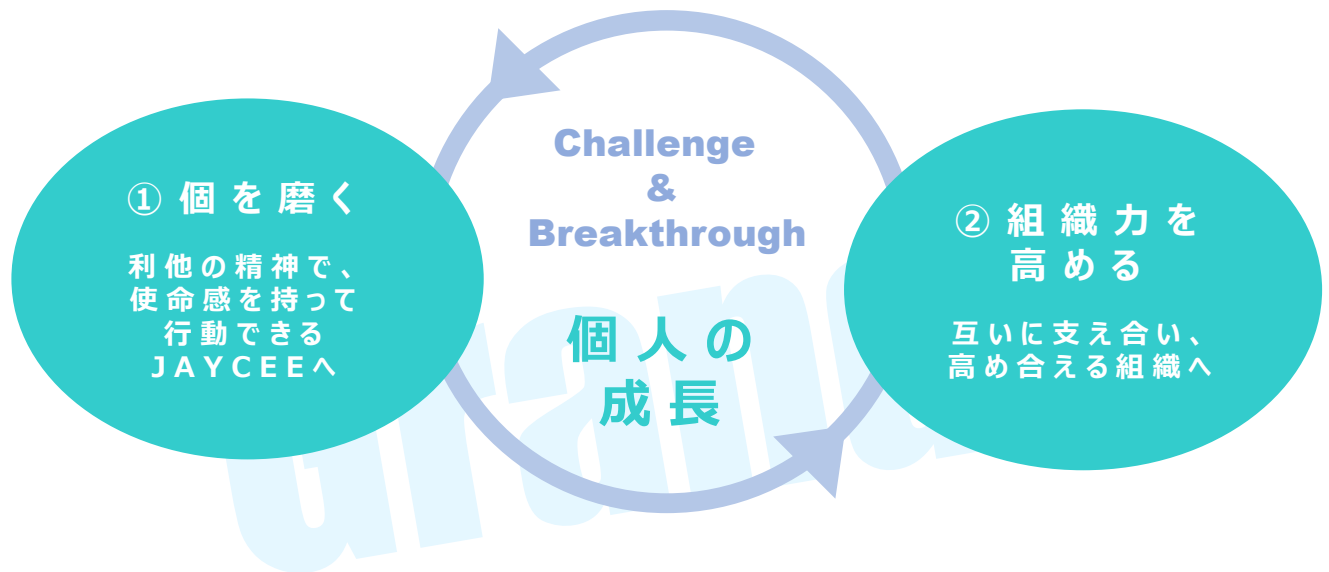
2. いわきJC グランドデザイン基本方針

我々いわきJCは、地域のオピニオンリーダーとして、地域社会の発展を叶えていかなければなりません。そのためには、時代・地域ごとの課題を打ち破る「ブレイクスルー」が必要です。そして、ブレイクスルーにとって、最も重要なことは、チャレンジを止めないことです。失敗することを恐れるのではなく、チャレンジをしないことを恐れましょう。そうでなければ、ブレイクスルーは訪れることはありません。

地域社会の発展のため、2つの基本方針を掲げました。どちらかが欠けてしまうことなく、関連性を持たせた事業を展開し、それぞれに相乗効果を上げていかなければなりません。それが運動となっていくはずです。



3. 個人の成長について



① 個を磨く

地域のオピニオンリーダーとなるべく活動をする私たちは、自らが率先して行動することによって、市民に良い影響を及ぼし前向きな変化を与えることが求められています。そうあるならば、まずは自分自身を律して利他の精神を持って行動をすることが重要であります。こうなりたい、こうありたいと願えば願うほど、自己主義に陥ってしまいます。まずは、自分を律して利他の精神を持つことを心がけましょう。そして、責任感以上に使命感を持ちましょう。義務感を帯びた責任感ではなく、前向きな熱意を帯びた使命感を持ちましょう。**諸君の精力と思考とを、自分の使命に集中させよ。**という言葉があります。なすべきことを、とことんまでやりぬく。あらゆる改善をし、あらゆることに精通し、なすべき事を完璧にマスターする。このことの繰り返しが個を磨いていきます。

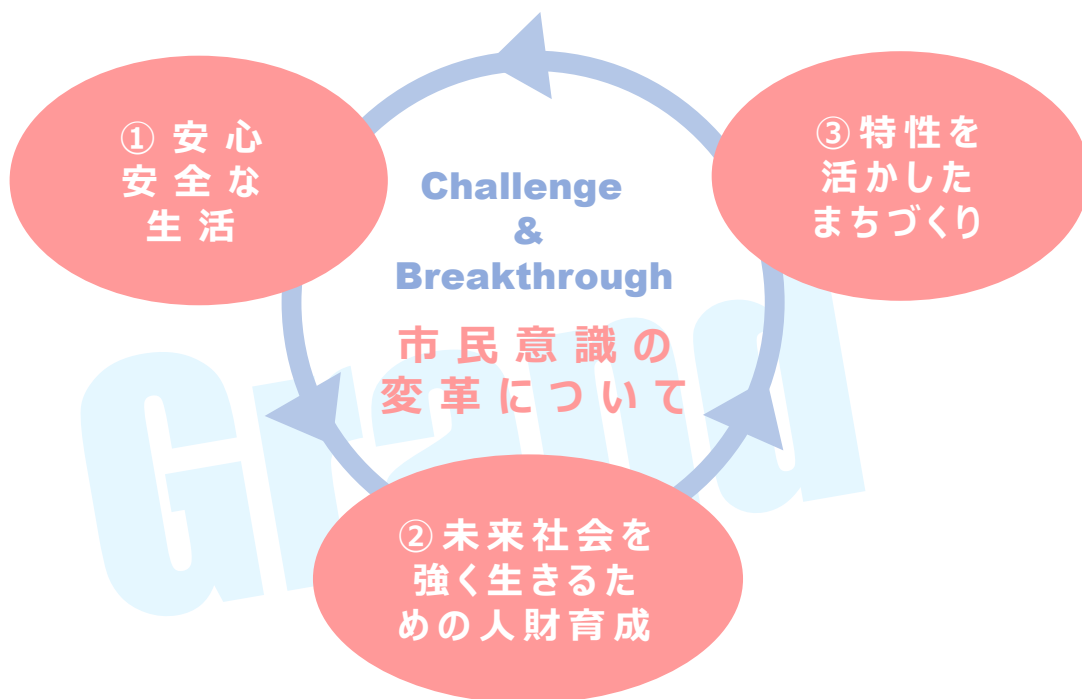
② 組織力を高める

公（おおよけ）とは、個人の立場を離れて全体に関わることです。私たちに必要とされるものは、個の利益よりも公の利益を優先することに価値を感じる感覚です。そして、公に関わるときに大きな力を発揮するためには、会員の連携が不可欠です。互いに支えあうことは、組織の在り方の基本であります。しかし、支え合い＝なれ合いになってしまわぬよう、互いに高め合える関係性をつくっていきましょう。それぞれ、違った立場で、違った担いを持った者同士が、しっかり意見を交わせる組織になりましょう。

全国的に会員数の減少や在籍平均年数の短縮傾向にある中で、いわきJCも同じ状況下にあります。しかし、我々はこのことだけを問題点とし、憂うことから脱却すべきです。大切なことは、会員が成長できる機会をいかに創出できるかです。会員の成長は、地域に良い影響を与え、結果そのことにより会員拡大に繋がっていくという意識をもって、具体的な施策を年度ごとに実行できるよう、しっかりと考えぬいていきましょう。

一人ひとりが個人の修練によって全体の力を向上させ、意識を高く持ち連携し合うことで、**組織として様々な困難や時代の変化に柔軟に対応できる強さや、しなやかさが生まれます。**

4. 市民意識の変革について



① 安心・安全な生活

安心・安全な生活は市民が最も求めるものであり、かつ最低限必要なものであります。誰もが安心安全に暮らすために、市民一人ひとりが自身で出来ることを正しく認識して、日頃の行動に取り入れていくことが重要です。そのための、意識の変革を図っていきましょう。我々は、「自助・共助・公助」それぞれに関与することができる、稀有な団体であるからこそ、市民の意識を変えることが出来るのです。有事の際の行動だけではなく、いわきJCだからこそできる、平時からの意識変革を求めて、年度ごとに具体的な施策を立案し、運動を展開していきましょう。

② 未来社会を強く生きるための人財育成

変化し続ける社会の中で活躍するために、より一層重要視されているのが「主体性」です。急速なIt技術の進化や、グローバル化をはじめとする変化の激しい社会の中で子どもたちが生きぬくためには、知識・理解にとどまらず、得た知識を生かして何ができるのか、世界や社会とどのように関わっていくのか、という考え方を身につけることが必要です。興味関心から始まる活動は、子どもの探求心をくすぐり、「もっと知りたい」「こんなこともやってみたい」という「主体的」な学びへと繋がります。あらかじめ与えられたゴールを目指させるのではなく、試行錯誤を繰り返しながら子どもたち自身でゴールを見つけることを重要視しながら、年度ごとに具体的な施策を立案し、運動を展開していきましょう。

③ 特性を活かしたまちづくり

私たち自身でまちの魅力を磨き、発信し、活力をもたらせることが必要な時代が到来しています。まずこのまちの特性を魅力に変換し、利活用できるようなビジョンを持ちましょう。そして、このまちの人達が共感できる魅力の発掘と利活用だけにとどまらず、他地域の人たちも共感できるビジョンに昇華させていきましょう。そのためには、市民全員がまちづくりの当事者であるという意識の醸成が必要です。文化・資源・自然等、このまちの特性を、他の都市の事例を模倣することなく、年度ごとに具体的かつ独自性を持った施策を立案し、運動を展開していきましょう。

5. グランドデザインの全体像

基本方針	テーマ
個人 の 成長	① 個を磨く
	② 組織力を高める
市民意識 の 変革	① 安心・安全な生活
	② 未来社会を強く生きる ための人財育成
	③ 特性を活かしたまちづくり